



TITLE:

表紙、目次等

AUTHOR(S):

CITATION:

表紙、目次等. CIRAS discussion paper No.67 : 不在の父 --混成アジア映画研究2016 2017, 67

ISSUE DATE:

2017-03

URL:

<http://hdl.handle.net/2433/228844>

RIGHT:

© Center for Southeast Asian Studies, Kyoto University

CIRAS Discussion Paper No.67

不在の父

混成アジア映画研究2016

山本 博之・篠崎 香織 編著

Absent Fathers—Cine Adobo 2016



京都大学東南アジア地域研究研究所



CIRAS Discussion Paper No. 67

不在の父

混成アジア映画研究2016

山本 博之・篠崎 香織 編著



京都大学東南アジア地域研究研究所

CIRAS Discussion Paper No.67

YAMAMOTO Hiroyuki and SHINOZAKI Kaori (eds.)

Absent Fathers — Cine Adobo 2016

©Center for Southeast Asian Studies, Kyoto University
46 Shimoadachi-cho, Yoshida Sakyo-ku, Kyoto-shi,
Kyoto, 606-8501, Japan

TEL: +81-75-753-7302

FAX: +81-75-753-9602

March, 2017

Cover Photo ©Hanuman Films

目次

刊行にあたって

山本 博之	4
-------------	---

第1部 特集 不在の父

7

『シアター・プノンペン』に見る家族のかたち

——父の不在、復帰、そして父からの自立

岡田 知子	8
-------------	---

インドネシア映画に見る父子関係の乗り越え方

——『再会の時』『珈琲哲学』『三人姉妹(2016年版)』より

西 芳実	19
------------	----

フィリピン映画に見る父性の諸相

——恋愛ドラマを中心に

山本 博之	30
-------------	----

シンガポール映画『セブンレターズ』に見る

「母としてのマレーシア」イメージ

——「覚悟」から見る東南アジア映画論に向けて

山本 博之	39
-------------	----

『アット・ザ・ホライズン』に見る父子の関係

——格差社会を生きる2つの家族の物語

橋本 彩	46
------------	----

第2部 国・地域別研究 混成アジア映画の現在

51

過去10年におけるシンガポールのヒット映画

篠崎 香織	52
-------------	----

タイのヒット映画に見る地域性と時代性

平松 秀樹	57
-------------	----

若手映画人によるラオス映画の潮流

橋本 彩	64
------------	----

シネコンの誕生とカンボジア映画産業の再起

岡田 知子	69
-------------	----

第3部 資料『痛ましき謎への子守歌』作品情報

73

未完のフィリピン革命を問う

山本 博之	74
-------------	----

『痛ましき謎への子守唄』作品情報

山本 博之	75
-------------	----

執筆者一覧	80
-------------	----







執筆者一覧

岡田 知子(おかだ ともこ)

東京外国語大学総合国際学研究院准教授。専門はカンボジア文学・文化。共編著書に『カンボジアを知るための62章』(明石書店、2012年)、『世界を食べよう!』(東京外国語大学出版会、2015年)、翻訳に『追憶のカンボジア』(同出版会、2014年)、『萎れた花・心の花輪』(大同生命国際文化基金、2015年)など。

西 芳実(にし よしみ)

京都大学東南アジア地域研究研究所准教授。インドネシアを中心に多言語・多宗教地域の紛争・災害対応過程を研究。主著は『災害復興で内戦を乗り越える——2004年スマトラ島沖地震・津波とアチェ紛争』(京都大学学術出版会、2014年)。映画関連では「信仰と共生——バリ島爆弾テロ事件以降のインドネシアの自画像」や「世界にさらされる小さな英雄たち」(共に『地域研究』13(2)、2013年)。映画で東南アジア社会の課題共有をはかるシネアドボ・ワークショップにも取り組む。

山本 博之(やまもと ひろゆき)

京都大学東南アジア地域研究研究所准教授。専門はマレーシア地域研究／現代史。研究テーマは、イスラム教圏東南アジアの民族と政治、アジアの災害対応、地域研究方法論。著書に『脱植民地化とナショナリズム——英領北ボルネオにおける民族形成』(東京大学出版会、2006年)、編著書に *Bangsa and Umma: Development of People-grouping Concepts in Islamized Southeast Asia* (Kyoto University Press, 2011)がある。

橋本 彩(はしもと さやか)

早稲田大学大学院人間科学研究科博士後期課程満期修了退学(博士、人間科学)。現在、東京造形大学助教。専門は、スポーツ人類学、文化人類学。博士論文では、雨季明けにメコン川で行なわれるラオス競漕祭の歴史的変容を「伝統」と「スポーツ」の観点から分析。

篠崎 香織(しのぎ かおり)

北九州市立大学外国語学部准教授。専門はマレーシア地域研究。マラヤ地域(マレーシア半島部+シンガポール)の華人社会を中心に、マレーシア地域の政治・文化・歴史を研究。主な著書に「マレーシア——『民族の政治』に基づく民主主義」(清水一史・田村慶子・横山豪志編著『東南アジア現代政治入門』ミネルヴァ書房、2011年)、「継承と成功——東南アジア華人の『家』づくり」(『地域研究』13(2)、2013年)など。マレーシア映画文化研究会／混成アジア映画研究会幹事。

平松 秀樹(ひらまつ ひでき)

京都大学文学部卒、チューラーロンコーン大学大学院比較文学科修士課程修了、博士(文学、大阪大学)。専門は、タイ文学・文化、日タイ比較文学・比較文化、タイ地域研究。タイ国仏教教理三級国家試験(ナックタム・トゥリー)合格。大阪大学・チューラーロンコーン大学非常勤講師。仏教およびジェンダーの観点からみた比較文学・文化研究に関心がある。

CIRAS Discussion Paper No. 67

山本 博之・篠崎 香織 編著

不在の父——混成アジア映画研究2016

発 行 2017年3月

発行者 京都大学東南アジア地域研究研究所

京都市左京区吉田下阿達町46 〒606-8501

電話: 075-753-7302 FAX: 075-753-9602